

ななお

NANAO CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

会議所だより

2021.11月号

No.611

<https://www.nanao-cci.or.jp>

[mail:office@nanao-cci.or.jp](mailto:office@nanao-cci.or.jp)



CONTENTS

- 常議員会／ななおSDGsコンソーシアム設立式 …………… 2
- SDGs経営セミナー／能登SDGs市民大学 …………… 3
- N-As通信／ハローワークからのお知らせ …………… 4
- 会員大会講演会のご案内／セミナーのご案内／
ななお共済配当金のお知らせ…………… 5

- 中小企業振興委員会インタビュー …………… 6～7
- SDGsアンケート結果／ゴルフ大会 …………… 8～9
- 青年部だより／女性会だより／地域振興委員会だより… 10
- 情報Catch Up…………… 11
- 渋沢栄一とその思想に学ぶ／行事カレンダー…………… 12

表紙写真：天空の能登島大橋（写真提供：中野久明氏）



令和3年度第2回「常議員会」を開催

令和4年度七尾市当初予算に対する要望（概要）等を承認

七尾商工会議所・令和3年度第2回「常議員会」を10月25日(月)、開催しました。

大林会頭は冒頭、「国連の持続可能な開発目標(SDGs)を推進しようと、七尾商工会議所や七尾市、金沢大学など9団体でつくるコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」を設立しました。また、『のと・七尾共創塾』『能登SDGs市民大学』も第一歩を踏み出し、今後に期待をしています。本日、お集まりの常議員の皆さまにはご支援・ご協力をお願いします」と挨拶しました。

議事として、(1)令和4年度七尾市当初予算に対する要望、(2)新型コロナウイルスワクチン共同接種事業の

実施及び七尾商工会議所職域接種特別会計の設置、(3)令和3年度七尾商工会議所補正予算、(4)参与の委嘱、(5)議員職務執行者の変更、(6)会員加入の承認について審議し、全て承認されました。

なお、令和4年度七尾市当初予算に対する要望（概要）は、①中心市街地活性化の研究と提案、②公共遊休施設の有効活用に関する研究と提案、③入札制度の改善、④アフターコロナを見据えた観光施策、⑤まちづくりコミュニティ財団（仮称）の設立、⑥移住・定住の促進、⑦創業がしやすい環境整備の7項目に決まりました。

9団体でSDGs推進組織「ななおSDGsスイッチ」を設立

七尾市内で国連の持続可能な開発目標（SDGs）を推進するため、10月16日(土)、当商工会議所、七尾市、国立大学法人金沢大学、能登鹿北商工会、のと共栄信用金庫、株式会社日本政策金融公庫金沢支店、独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部、東京海上日動火災保険株式会社及び公益社団法人七尾青年会議所が、相互の業務連携・協力に関して、包括的な連携協定を締結し、SDGsを推進するコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」が設立されました。

SDGsの理念や目標を能登の視点で学び、SDGs推進企業が生まれ育つ!!を目標に、SDGs・ESG経営や地域課題解決型の新事業に取り組もうとする企業や、SDGsや地域の課題解決に興味関心のある一般市民・学生等を支援するモデルを創り、SDGs達成に向けた最初の一步を踏み出す支援から、持続可能な七尾市の実現を目指すものです。

9団体が連携して地域の持続的発展に繋がる取組みを創出し、積極的な支援を行っていくため、各機関がこれまで培ってきた経験や能力を結集させ、連携し、SDGsを推進する企業の支援施策を展開していくとともに、地域のSDGs達成に向けた取組みを更に推進していくことを通じて、地方創生SDGsの達成に向け、「SDGs未来都市」への認定制度の申請を目指します。



挨拶する大林会頭



ななおSDGsスイッチ参画組織



ななおSDGs経営セミナー

今後求められるゼブラ企業!! SDGs経営を行うためのポイント!!

ななお創業応援カルテットと中小企業基盤整備機構北陸本部の共催による「持続可能な企業を目指して! ななおSDGs経営セミナー ~今後必要な「SDGs経営」とは~」を、10月20日(水)、開催しました。

第一部基調講演では、株式会社Zebras and Companyから共同創業者/代表取締役である田淵良敬氏を招聘し、「今後求められるゼブラ企業 ~持続可能な企業の「SDGs経営」とは?~」についてご講演を頂きました。

第二部では、中小企業基盤整備機構北陸本部の企業支援課の打田課長様と氏家主任様より、SDGs経営の導入方法について、最新施策や先行事例をもとに、ご講演を頂きました。



セミナー会場の様子

能登SDGs市民大学は、

SDGsの理念や目標を能登の視点で学べる市民大学です

ななおSDGsスイッチ主催による「能登SDGs市民大学」の開講式と第1回講義が、10月27日(水)、開催されました。本市民大学は、七尾市とその周辺地域に所在を置く、または七尾市とその周辺地域に縁、関心のある高校生以上のSDGsやESG経営、地域の課題解決に興味関心のある事業者・一般市民・学生を対象として、国連大学いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット事務局長の永井三岐子氏や金沢大学教授である松島大輔氏らを講師としてお招きし、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に関する基礎的知識や、事業におけるSDGsの推進について、計6回のカリキュラムを受講することで、幅広い知識の習得を目指すものです。

初回である第1回講義では、東京海上日動火災保険株式会社より講師をお招きし、「SDGs de 地方創生」カードゲームを通して、受講生が対話を通して「行政・民間・市民」が一緒になって取り組むことが地域の「人口・経済・環境・暮らし」を高められることを、

身をもって体感しました。またSDGsは一見つながりがなさそうな事象も、「風が吹けば桶屋が儲かる」という諺のように、全てがつながっていること、一人ひとりが地域の事象に対し、自分事として取組まなければ、持続可能な開発目標はゴール出来ないことなどを学びました。



第1回講義の様子



高校生もグループディスカッションに参加



真摯な姿勢でグループ討論

N-As(エヌアス) 通信

ななお経営支援センター (N-As)
ななお創業応援カルテット
石川県よろず支援拠点能登サテライト

七尾(N)の明日(As)の経営／経営のなやみ、なんでも、お手伝い

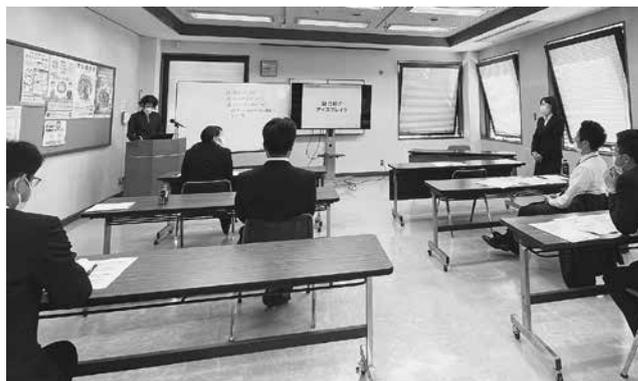
■ 生産性向上支援訓練を開催

10月19日(火)、当支援センターは、ポリテクセンター石川(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構石川支部)との共催で、生産性向上支援訓練「後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割」を開催しました。

会員事業所の中堅職員のコミュニケーションスキルの向上を目的とした研修で、講師は、株式会社日本教育クリエイティブの中栄真紀氏が務めました。

講師は、職場の課題と解決方法の導き方やティーチングとコーチングの違いとその活用法についてわかりやすく解説しました。参加者は、自社でのケースを考えたり、参加者同士でティーチングとコーチングの

ロールプレイングを行ったりするなどして理解を深めました。



訓練風景

■ のと・七尾共創塾が開講

10月23日(土)、当所2階大ホールで第1回のと・七尾共創塾を開講しました。

共創塾は、世界がアッと驚くイノベーション(破壊的イノベーション)をのと・七尾から生み出すことを目的としています。

大林重治塾頭の講演で幕をあげ、「ある若者のひとことである『変化は進化であり、常に変化する環境に身を置くことで自分自身も成長すると信ずる』という言葉に感銘を受けた。この塾が、塾生に少しでも変化をもたらす有意義なものになることを期待する」と述べられました。

第1回共創塾では、塾生一人ひとりが自身の10年後の夢を発表し、塾生は大きな歓声を上げていました。

共創塾は、コーディネーターを松島大輔 金沢大学融合研究域融合科学系教授とし、塾生27人が5回受講します。



講演をする大林塾頭

11月は労働保険未手続事業一掃強化期間です

常用労働者を一人でも雇用している事業主の方は、全て労働保険(雇用保険と労災保険)に加入しなければならないこととなっております。

また、1週間の所定労働時間(定められた個々の労働時間)が、20時間以上でかつ31日以上継続して雇用されるパート労働者も、雇用保険の加入対象となります。

まだ労働保険に加入していない事業主の方は、早急に加入手続きをお取りください。

詳しくは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

七尾労働基準監督署
七尾公共職業安定所

TEL 0767-52-3294
TEL 0767-52-3255



令和3年度会員大会 特別講演会のご案内

日本放送協会金沢放送局 局長 小原美和氏をお迎えし、ご講演をいただきます。
事業所のみなさまにはこの機会にぜひご聴講いただきたく、ご案内申し上げます。

- 【日 時】 令和3年11月18日(木) 15:15~16:30
- 【場 所】 石川県七尾美術館 アートホール
- 【講 師】 日本放送協会金沢放送局 局長 小原 美和 氏
- 【演 題】 地域の“宝”を掘り起こす

～フィルム映像が語る石川県の素顔～

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。



**定員
5名限定**
(先着順)

イチから分かる！ 経営計画策定セミナー

経営体制を見直したい！資金調達をもっと円滑にしたい！そんな方にピッタリです。
コロナにも負けない体制づくりを考えてみませんか？

- 【日 時】 令和3年11月25日(木) 14:00~15:30
- 【場 所】 七尾商工会議所 3F会議室
- 【講 師】 中嶋 克也 (石川県よろず支援拠点) ※詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お申込み・お問い合わせ先

- 公益財団法人石川県産業創出支援機構 (ISICO) ■ 七尾商工会議所・ななお経営支援センター
- 石川県よろず支援拠点 TEL 076-267-6711 TEL 0767-54-8888



**1日
10名限定**
(先着順)

イチから分かる！ LINE公式アカウント活用講座

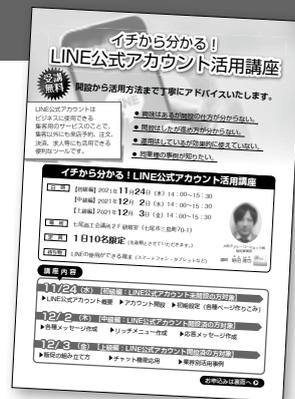
LINE公式アカウントの開設から活用方法まで丁寧にアドバイスいたします。

- 【日 時】 令和3年11月24日(水) 14:00~15:30
- 令和3年12月2日(木) 14:00~15:30
- 令和3年12月3日(金) 14:00~15:30
- 【場 所】 七尾商工会議所 2F研修室
- 【持ち物】 LINEの使用ができる端末 (スマートフォン・タブレットなど)
- 【講 師】 野田 進也 (大和タクシーコールネット(株)販促事業部)

お申込み・お問い合わせ先

- 七尾商工会議所・ななお経営支援センター TEL 0767-54-8888

※詳しくは同封のチラシをご覧ください。



会員の皆さまへ… ななお共済制度配当金お支払いのご案内

令和2年分 (令和2.8.1~令和3.7.31)

ななお共済制度にご加入いただいている会員の皆様に配当金のお知らせをさせていただきます。

ななお共済制度は、毎年7月31日に過去1年分の剰余金が生じます。ご加入の皆様は配当金としてお支払いさせていただきます。

なお、配当金のお支払いは11月18日(木)に口座振り込みをさせていただきます。
令和2年度ななお共済配当金 (掛金1口12か月分の配当金は583円です。)

(例) 3口ご加入事業所 3口×583円=1,749円





例えば、僕らが中村理事長とつながったことで「こんな事をしている人がいて勉強になるよ」と次の誰かを連れて来る。そうやって、いろいろな人がつながり交流関係人口になっていっている状況です。観光とインバウンドの話をすると訪日関係の観光誘致のように思われるのですが、これは観光に特化した取り組みではなく、自分たちが言うインバウンドは「資本」についてのこと。ヒト、情報、モノ、お金、不動産など資本的価値のあるもの全てにおいてのインバウンドであって、観光だけを考えているわけではない。

政浦：「リビングラボ」という計画があります。地域の課題を洗い出し解決する、その解決能力を持っている都会の事業者と組んでその業を興す、その流れを作りたいのが「リビングラボ」なんです。例えば、金沢大学と大学生のインターン受け入れの話をしているのですが、大学生のリクルーティングを考える都会の業者にとっても参加するメリットのある話で、自分達、大学生、業者、この3つのメリットを上手く組み合せると乗ってき

てくれる。それが将来的に、サテライトオフィス誘致などにつなげていければ、関係人口から定住人口へ変化していくことになる。そういう流れを作ってきたのがこの関係人口創出事業で、これも結局はインバウンドであり、資本を集めていることになりませう。

太田：観光をベースに人が集まってくるんだけ

ど、そこからの仕掛けを作っておけば、上手くたくさんの人とつながっていくと考えています。

政浦：地元をベースとなるものがあり、そのベースに人が寄って来る。いわば、七尾にあるものを餌として魚釣りをしていっているような感覚かもしれません。

太田：僕らには「結構良い餌がある」ということが分かっていたんです。委員会の順番としては、1番目は、関係人口の創出。2番目は、中小企業の外貨を獲得しようという商業的な部分。3番目は、いろいろな人が集まってきて働き手につながる人材となること。

政浦：サテライトキャンパスは、大学生の段階から七尾に興味を持ってもらうようになって、やりながらその可能性に気が試みました。大学の方も乗ってきてくれた感じがします。

太田：学生が主体となってこの町で儲けるようになったら面白いよね。

政浦：課題を隠すことなく誰でもオープンに見えるようになって、「この課題を解決したい人集まれ！」みたいな感じだと人は集まってくる。今、また七尾はその問題が明確になっていないのがなと思うんです。インバウンドは観光誘致ではなく「地元の商店街の販路を増やす一つのツール」という風に考え、そこにいろいろな形で人を呼んで来たら、その人がまた人を連れてきて、関係人口につながっていくということなんです。

■思い描く七尾のあり方

政浦：そもそも中小企業振興と考えると、決して小さい経済圏だけの話ではないわけです。その視点で物事を考えていくと、出来るだけ広く先駆けでやることだと。七尾だけではなくこの地方ではマーケットイン（※4）という考え方があまりないように感じているので、デジタル全盛の社会で、それをどう発信していくのか、もっと勉強していかなければならないと思っています。七尾には、雇用の場が無い、経済活性化が必要、そんな話があるけれど、まず自らが地に足を付けてやることだと思っています。ただ、そこを発想と人脈で後押しすることややっていただけたいんじゃないかな。松島先生や中村理事長との関係性も考えると今がやり時であるという肌感覚はあります。会頭、副会頭にも支えていただき、こども動きやすい。せっかく今、こういうチャンスを得たいと思っているの

で、今まで自分たちが出来なかつたことをいろいろやってみたいと思っています。

太田：七尾へ来て8年になりますが、僕の視点で七尾を見ると、いろいろなものがたくさんあって掘り起こすといくらかでも出て来る感覚です。逆にありすぎて、町として絞ってやれないということがあるのかもね。今、官公庁関係とかいろいろ人が七尾へ来てくれていて、これは売り物になるっていうモノはたくさんあるけれど、磨き上げが出来ていないのだと感じます。

政浦：太田さんを見てみると、移住関係の仕事をしていたり、今までの自分たちには無い視点を持っているなと感じます。太田さんの会社では、塩しモンの商品開発をやり「MUSIC OF THE MARKET」での発信が成功しています。クラウドファンディングなどは、初期リスクも軽減され、本当に使い勝手の良いものになっています。そういうのももっと広げていかないと、地方の中小企業振興というのは難しいかなと思うんです。実際、この人口減少の中でいろいろ予算は削られていき、シミュレーション費用が無くなってきています。もうダイレクションにマネタイズを持って行く事業を起さないと、仕組みとして出来上がってこないのではないかなと思います。

南：僕は6代目で、子供の頃から持続性を意識して生きてきたわけですが、コロナ禍で外から全く人が入って来ないと、人口5万人程度のこのまちは本当に弱くてもいいもんだと思っただけです。外との連携を考えていかないと回らなくなるんだと実感したので、インバウンドを通して、七尾に興味を持ってくれる人と広い意味でのつながりを作り出すことが大切だと。普通に七尾で生活しているところから七尾の良さがあるという話もありましたが、もっと地元の人たちがそれを認識して、自分たちが価値を高めていくことが必要なんじゃないかなと思います。

太田：七尾のことだけ考えていても新しいものは出来ないと思う。ここに住んでいると知り合いの中でしか物事を考えないということが起ります。もっと広く、日本、世界へと目を向けることが大切。SDGsへの取組みもあり、環境のことや食料のこと、世界が大きく変わろうとしている中で、七尾だからこれくらい良いだろうじゃないかって、それぞれが考えて、もっと変わって、いろいろなことが出来る可能性が世界的にあると知って欲しいです。オンラインで多くの情報が手に入れやすくなりました。もっといろいろなことをやれそうです。もしそういうことを知りたければ委員会に声をかけていただき入っていただけたいと思います。

杉本：このコロナ禍で、当たり前前かがり前にも出来なくなると、改めて、当たり前前かがり前にも良いことであると気付いたんです。事業をやりながら10年後を想定して思うのは「そそられる地域」を作りたいということ。なかなか難しいんですけど、これからそんな未来を見出し

ていけたらいいけど、今、そんな気持ちで動いています。

政浦：七尾は次世代を司る若い世代がカッコいいと思うコトやモノが抜けてる感じがある。残すだけじゃなくて寄せてくるっていう手もあるよね。

太田：上の世代が40代だった頃の七尾が一番元気があったとよく聞きますが、今、自分たちがその年齢なので「やっただらな」という感じがあります。やっぱり自分たちが面白くないと駄目ですよ。

政浦：「アクティブじゃなければハッピー」になれない（笑）大切ですよ。よくありがちですが、忙しさを理由に関わらないとチャンスにはつながっていかないと思う。これを読んでインバウンドのことなど聞きたい人がいたらなんでも聞いて下さい。

太田：そして一緒にやりましょう。

政浦：「自分たちがビジネスモデルを作り出す」ことが課せられていると思っただけです。先に自分達がやれていなかったら、他の人にも伝わらないだろうと思っただけ。やれることを粛々と熟しながら、課題を見つけて、みんなで共有し、プラットフォームを繰り返し構築まで持って行く。委員会だけでは偏るから、たくさんいろいろな人が関わってくれて、話をしながら聞きながら動いていけば、やっている方向に間違いは全く全部がつながっていくと思っただけです。それを形に出来れば、今後それぞれの業界に役立つ大きな力になると思っただけです。

Interview & Writings 小山 百代

●お問合わせ

七尾商工会議所
〒992-0004 七尾市三島町70番地の1
TEL: 0400-0000 FAX: 0400-0001
URL: <https://www.nanao-ci.or.jp>



《みんなに伝えたい七尾商工会議所のいろいろ》 中小企業振興委員会 座談会

七尾商工会議所には、みなさんの事業に関連するたくさんの情報があります。当所は、昨年から続くコロナ禍においても助成金・補助金申請などの事業者支援を積極的に行っていました。情報が掲載された新聞やパンフレット資料だけではなかなか理解しきれない活動内容について、会員の皆さまに、知ることと興味を持ち、上手にご活用していただくため、様々な切り口で商工会議所活動を紹介していこう！というのが今回の企画です。

さまざまな事業支援があるため「どこに相談したらよいか分からない」と迷うこともあると思います。私たちの仕事は、会員ニーズを知り、それぞれの事業ケースに合わせた支援を紹介し提供することです。そんな時は、まず七尾商工会議所にご相談ください。

中小企業振興委員会（参照）

〈方針〉中小企業を取り巻く環境に多くの課題を抱える中、産学官連携による産業イノベーションを生み出す取り組みを通じて、地域経済の活性化や雇用拡大、産登の里山里海ブランド構築を目指すとともに、グローバル視点での販路拡大や関係人口の創出についての調査研究を行うなど、地域の経済課題の解決へとつながる活動に努めます。また、持続可能な開発目標であるSDGsや循環型経済、デジタル技術活用により、質の高い社会づくりを目指すSDGxCOへの対応など、産登が抱えている課題の持続可能性と企業の対応を問い直すなど、社会のあり方そのものを考え、

中小企業の振興に貢献します。

〈基本計画〉1「産登の里山里海」産学官連携による新ビジネス創出事業／産登の里山里海DXコモンズ構想に関する調査・研究／高等教育機関・他団体・行政の連携支援により、新たなビジネスチャンス創出／2インバウンド振興を通じた販路拡大推進事業／地域経済活性化の実現及び海外販路拡大に対する経営マインドの醸成／3関係人口創出事業／関係人口を地域の力に変換するプログラム構築に関する調査・研究／リビングラボ（市民主体の共創型社会活動・拠点）に関する調査・研究／4中小企業振興を実現する上での課題や解決策を共に考える取組

◆座談会メンバー

- 政浦 義輝 / 委員長：第一印刷(株)
 杉本 祐一 / 副委員長：お好み焼き平野屋
 太田 殖之 / 委員：(株)おやゆびカンパニー
 南 智文 / 委員：(株)松乃寿司

※1：DAPPE（ダッペ）
 戦略論であるP（Plan 計画）D（Do 実行）C（Check 評価）A（Action 改善）に代わり、現代のような変化の激しい時代に合わせた新ビジネス戦略論といわれる。

※2：DX（デジタルトランスフォーメーション）
 直訳すると「デジタル変換」。進化したデジタル技術を活用、駆使、浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること。

※3：コモンズ
 コモン（common）は、英語で「共通の・共有の」という意味。コモンズ（commons）とは、共同で所有し管理する土地、転じて、コミュニティに属する共通の場所をさすこともある。

※4：マーケットイン
 市場や買い手の立場に立って必要とするものを提供していくこと。

今年2月21日、七尾商工会議所と金沢大学は「産登の里山里海DXコモンズ構想」実現に向け「DX産業化推進パートナーシップ協定書」の調印式を行いました。今後の七尾のあり方を考える上で、地域経済課題の解決へとつながる様々な政策の基点となるこの調印に尽力した「中小企業振興委員会」のメンバーにお集まりいただき、お話を伺いました。

■「どこかへやってみよう」

政浦：この委員会が動き始めて約2年になります。昨年2月に最初の委員会を開催しスタートを切ったのですが、その後すぐにコロナの影響を受けることになりました。

南：最初に委員長が方針と計画について、そしてDAPPE（※1）や「Do-Action」と「コカへやってみよう」と話されたのを覚えています。

政浦：最初はPDCAサイクルで回そうと思っていましたが、委員会メンバーが30・40代の比較的若い年齢層だったのでDAPPEで行うことが委員会には役割があるので、その役割をしっかり果たそうと当初の計画（参照）を立てました。

太田：コロナ禍で止まってしまい、みんなやるこ

とが無くなっちゃって。ただ、まだ誰もやっていない時にオンライン会議をしたり、練習を兼ねいろいろなことを始めていました。

政浦：4月にまずフェイスブックページを立ち上げた。七尾限定にも関わらず1週間約700ビューという大きな反応があって、七尾の人たちはコロナ禍で困っているんだなという印象を受けました。自分たちは中小企業振興委員会なので、中小企業の支援をこのSNSを使って出していこうという基本的な考えがある中で、「どうしようか」と言ってもしょうがないので、みんなが他地域での先進事例をどんどん挙げていき、何をするか決めたと記憶しています。

太田：最初のスタートは「がんばろう七尾」。飲食の支援をしようというアイデア（持ち帰り・セントホーム（通販））を行いました。クラウドファンディングを始め、まず僕らが汗をかけたことはやることに始めました。

政浦：そこから「おうちで祭りしよう」「グリーンフラッグ運動」など、夏まではノンストップで進んで行きました。その後、GOTOキャンペーンなど国の支援も始まり、様子を見ようというところに、当初から計画の流れにブレはなく、コ

ロナがあるのがなからうが行っていた事でしたが、他団体との連携を含め、今までにないスピード感を持ってやれたのではないかと思っています。そして次に、今やっている世界の潮流に合わせた広義のインバウンド振興に連なる海外販路開拓へと動き始めました。

太田：海外販路開拓についてはまだ途中ですが、仕掛け作りをしています。商品は紹介の仕方次第で変わります。現在は、外に向けて売り出せる商品作り、そしてそのノウハウ作りを行っています。

政浦：現在、観光立国フォーラムや他の連携事業を通じて関係人口が広がってきています。委員会の役割は「公的なプラットフォーム」だと思っていて、公の活動を出る場として捉えながら、みんなの仕事に役立つようつなげていこうと考えています。

南：委員長は絵を描くのがとても上手い。元々の計画やビジョンはあるわけですが、その中に選択肢が多すぎると感じる人がいます。いろいろな人を巻き込みながらつなげていくので、しっかりと関わりながら付いていかないとと思っています。

杉本：関係者ややり方が増えてくると確かに大変なんです。最後のゴールイメージの共有は出来ているので大丈夫です。それはまとめる人が居ればいだけのことです。

政浦：この委員会の任期は3年ですが、やることは決まっていますが3年間でゴール設定はしていませんので、この期間内にどこまで行けるかとい

う感じですね。当然、ここで勉強したことは委員会の枠を超えて形になっていくと思っています。

■みんなが儲ける仕掛け創り

政浦：昨年11月に会議所で金沢大学の松島大輔教授のセミナーが開催されました。それをきっかけに「産登の里山里海DXコモンズ構想」が動き出しました。協定を結んでから方針に取り入れ、金沢大学とは親密に事業を進めていくことが出来ていて、意識を持ってやっています。

太田：観光立国フォーラムの開催において、日本インバウンド連合会の中村好明理事長をはじめ、いろいろな方とつながったことも大きかったです。

政浦：今何が起きているかと言った

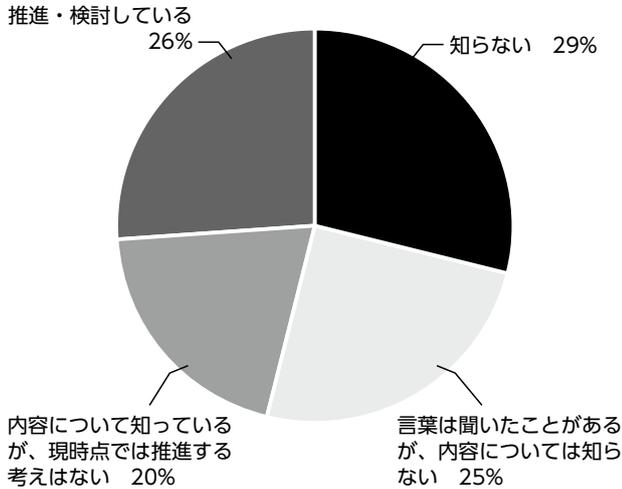


◀政浦さんと杉本さん

「七尾と会社を元気にできるSDGs」 事業者アンケート分析結果

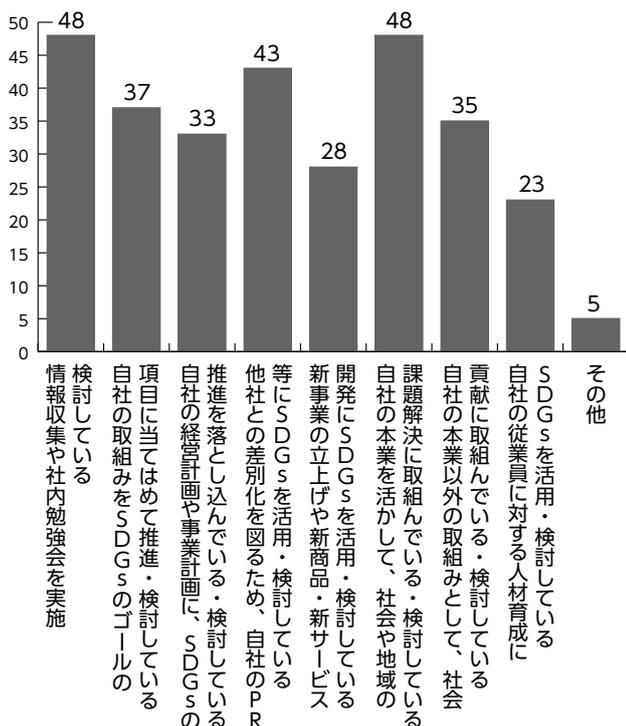
抜粋

■七尾と会社を元気にできるSDGsを知っていますか。



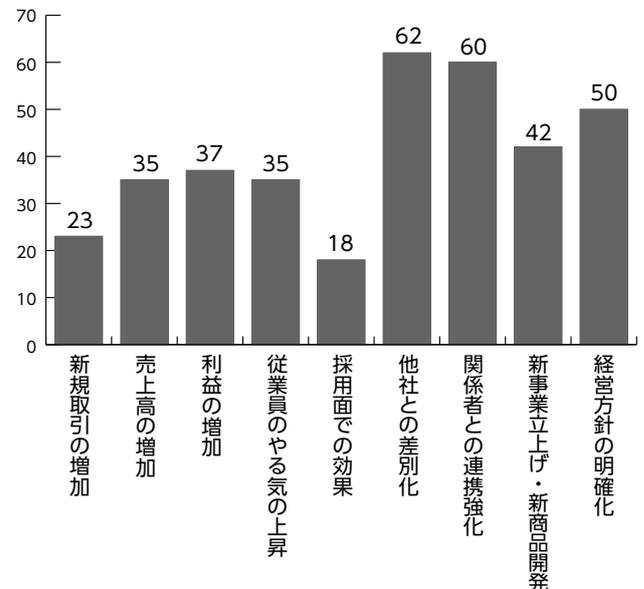
知っている、知らないの割合がそれぞれ約50%となった。知らないと回答した30%の内訳をみると、高齢の経営者・従業員数50名以下・個人事業主という傾向がみられた。SDGsという言葉については日常的に使われるようになっており、メディア等で目にし、耳にしないう日はないほどの状況の中、「知らない」としている企業は外部環境情報の収集能力に問題があると考えられる。一方で、外部環境に影響されることがなく経営が成り立っている地元密着型経営ができているという考え方もできる。

■SDGsの具体的な推進内容は（複数回答）



取り組み内容の上位が「情報収集や社内勉強会を実施・検討している」「自社の本業を活かして、社会や地域の課題解決に取り組んでいる・検討している」の2項目、続いて「他社との差別化を図るため、自社のPR等にSDGsを活用・検討している」が続いた。一方で「自社の従業員に対する人材育成に、SDGsを活用・検討している」と回答した企業は23%にとどまり、**自社事業のPRツールとしては利用するものの、自社の存在価値そのものの向上につながるツールであるという認識にまでは至っていないという傾向が読み解ける。**

■SDGsに取り組む目的として期待するものは（複数回答）



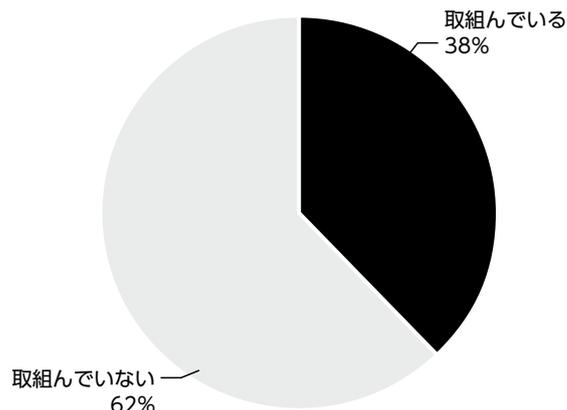
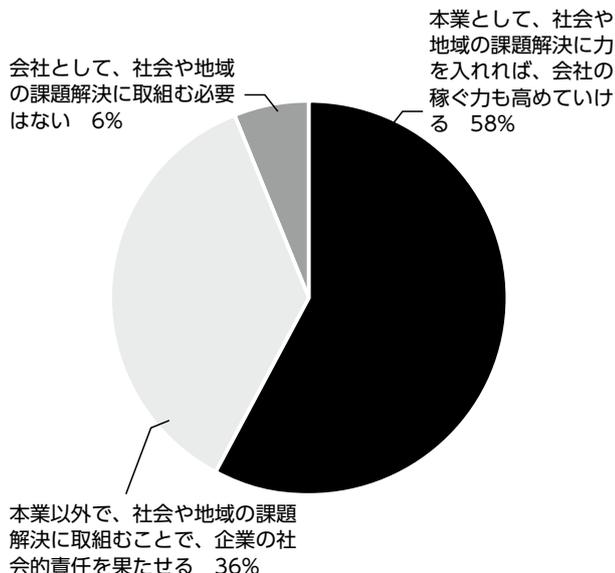
事業PRに関する項目「他社との差別化」「関係者との連携強化」が上位となっており、実際の事業に直結する「新規取引の増加」「売上高の増加」「利益の増加」への認識が低いことから、SDGsへの取り組みが事業伸張につながるという認識には至っておらず、また本来の社会貢献である従業員の質の向上につながる人材育成面の項目「従業員のやる気の上昇」「採用面での効果」に関しても目的として掲げる企業が少なかった。**あくまでもSDGsへの取り組みがトレンドに乗ったものの、利益度外視の取り組みという傾向がみられた。**

■社会や地域の課題に対する考え方を教えてください

事業を通じて社会問題に解決すること、事業以外での社会貢献、どちらも正解であり、企業のあるべき姿として正しい。しかし、「会社として、社会や地域の課題



■会社で社会や地域の課題解決に取り組んでいますか。



「解決に取り組む必要はない。」と回答した6%の企業については、実際には事業を通じて社会貢献しているにもかかわらず、その認知が間違っている、ないしはさらに高い目標を持っている可能性がある。社会、地域の「役に立つ事業を行っている」という認識を持つことで企業はより成長しやすくなり、また社員も誇りをもって業務に取り組むことができるようになることから、**事業が社会の役に立っているという認識が欠如している企業に対して七尾商工会議所として経営のフォローアップをお勧めする。**

7割が事業を通じた取り組み、3割が事業外での取り組みを行っていることが分かった。取り組みが必要ないとの回答をしたにもかかわらず地域課題解決を行っていると回答している企業も1社あった。さらに、本業以外で地域課題の解決に取り組んでいる企業を分析すると、資本金300万円以下企業が69%となり、企業として取り組んでいるというよりは経営者ないしは社員個人が社会と密接にかかわっている様相が推察される。これらの企業は地域とのつながりを大切にする文化が既に定着していることから、地域に密着した個々人の活動を企業として、また事業を通じて関与するようにつなげることで地域の課題が解決しやすい社会づくりにつながると考えられる。

まとめ

SDGsへの取り組みに関連して、企業が「地域課題・社会の課題」にどのようにアプローチしているかをアンケートした結果、七尾市内企業の特徴として以下の点が確認できた。

- そもそもSDGsに対する理解度が低く、SDGsへの取り組みは「ボランティア活動である」という認識を持った企業が約40%になっている。
- SDGsを企業として取り組むための課題として、こ

れから着手しようとする企業では「何から始めてよいかわからない」との回答が多く、実践している企業では「SDGsに取り組むことの評価が社会から得られない」との回答を得た。

- 社会に役立つ企業（人）でありたいと考える企業は75%を超えており、SDGsを取り入れる素地は十分にある。 [SDGsアンケート詳細版⇒](#)



親睦ゴルフ大会の開催！

第10回七尾商工会議所・中能登町商工会・能登鹿北商工会ゴルフ大会が、能登島ゴルフ&カントリークラブで、10月2日(土)、103名が参加し開催されました。このゴルフ大会は、七尾鹿島地域の経済団体の一層の連携を図る目的で実施されています。

当日は、好天に恵まれ、絶好のゴルフ日よりとなり参加した方々は、清々しい汗をかいていました。

表彰式では、企業・団体の皆様からご協賛をいただいた商品が贈呈され、参加者は笑顔でにこやかに語り合いました。

ご協賛いただきました、企業・団体の皆様ありがとうございました。



一般の部	優勝	小坂博康 (中能登町商工会)
	準優勝	大岡良浩 (七尾商工会議所)
	第3位	高木 洸一 (七尾商工会議所)
女性の部	優勝	桜井由香 (能登鹿北商工会)
	準優勝	飯田八重子 (七尾商工会議所)
	第3位	江尻わか子 (能登鹿北商工会)

特産品開発協業プロジェクト

10月28日(休)、七尾商工会議所青年部(会長:瀬口功雄)は、今年度、地域向上委員会(委員長:五十嵐亮)で取り組んでいる、シェフ・障害者・青年部の3者で行っている産福食連携プロジェクトのプレスへ向けた試作品発表と現在の進捗状況についての報告を行うため、定例会が行われました。

瀬口会長は、定例会冒頭「コロナ禍で苦境に立たされている飲食業、旅館で清掃業務に携わっていた障がい者、観光客向けの小売店など多くあるが、それぞれが協力することで現状を打破したい。障がい者の仕事の幅を広げたい」と挨拶しました。

今回の定例会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場を3つに分け、各会場からオンライン(Zoom)を利用することで繋がるというリアル&オンラインのハイブリット型で開催しました。今回は、一つの会場に集まる

ことは出来なかったものの、久しぶりの会員間の交流で会員からは改めてリアルな場でのコミュニケーションの大切さを感じることが出来たなど意見があり会員間の親睦、交流、特産品開発協業プロジェクトの理解を深めていただく良い定例会となりました。



プレス発表した商品の様子

第53回全国商工会議所女性会連合会オンライン総会

～第2条特別功労者表彰の代表として、木下特別顧問が感謝を伝える～

全国商工会議所女性会連合会は、10月22日(金)に「第53回全国商工会議所女性会連合会オンライン総会」がZOOM配信にて開催されました。全国356女性会から約3,800人が参加し、当女性会からは、沢野千穂子会長他16名が参加しました。

冒頭、市瀬会長(東京女性会会長)は、「コロナの影響で困難な状況もあるが、各地女性会でのオンラインの活用やコロナ禍で困っている人たちへの寄付活動など、新しい視点を取り入れて、多くの活動を実行していることに、大変心強く感じる。」と述べられました。

その後、第20回女性起業家大賞・エクセレント賞授賞式、全国商工会議所女性会表彰が行われました。特別功労者の表彰では、47人の代表として、当女性会の特別顧問木下八重子氏が、これまでの女性会活動を支えてくれた多くの方々に、感謝の意を伝えました。

次回の開催地である福島県商工会議所女性会連合会から次回「第54回福島全国大会」への参加を呼び掛けられ、

福島での再会することを誓い盛会のうちに閉会しました。

初めての試みのオンライン交流タイムでは、当女性会は、魚津(富山)、豊川(愛知)、津山(岡山)、日南(宮崎)の商工会議所女性会とオンラインでつながり、相互の活動を紹介し、交流しました。記念プログラムでは、女性起業家大賞20周年記念の受賞者講演や一橋大学大学院教授クリスティーナ・アメージャン氏を講師に迎え、「渋沢栄一POWER!」と題した講演が行われました。



感謝を伝える
木下特別顧問



「花嫁のれん」をバッグに全国に
ZOOM配信で元気をお届け

地域振興委員会では、ゲストに衆議院議員西田昭二代議員を招き、意見交換会を開催する予定でしたが、コロナ禍によりやむなく中止いたしました。

その後代議員に委員会としての質問事項を文書にて提出したところ、即座にご回答をいただきました。質問事項に関していくつかご回答を頂戴しておりますので、一部紹介させていただきます。

- ・七尾市の国道や県道の計画完成予定図について

- ・森林の適正な管理・利用や新しい林業に向けた取組について
- ・国の国土強靱化計画の予算計上と県市の強靱化計画との予算上の意思疎通について など以上、委員会報告とさせていただきます。



西田昭二代議員からの質問回答書



七尾商工会議所 情報 Catch Up

【七尾商工会議所 経営発達支援計画】からの情報提供

当所の同計画による経営発達支援事業では、国、県等の金融経済に関する公表資料の活用として、石川県及び北陸3県を中心とした地域外への事業展開及び販路開拓を踏まえた事業計画の策定並びに実施支援を行ううえで必要となる経済状況や景気・金融動向等の調査・分析・提供を行っております。

今回は、財務省北陸財務局が四半期毎（令和3年10月判断）に取りまとめ公表している「石川県内経済情勢」を転載して提供するものです。

石川県内経済情勢

令和3年10月27日発表

令和3年10月 財務省北陸財務局

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しつつある。

先行きについては、感染対策を徹底し、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、国内外の感染症の動向等の影響を注視する必要がある。

（注）3年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

■個人消費：新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

百貨店・スーパー販売

衣料品等の動きが鈍いものの、飲食料品等に動きがみられることから、緩やかに持ち直しつつある。

コンビニエンスストア販売

米飯類等の動きが鈍いことなどから、低調となっている。

ドラッグストア販売

衛生用品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることなどから、順調となっている。

ホームセンター販売

園芸用品等に動きがみられることから、堅調となっている。

家電大型専門店販売

白物家電等の動きが鈍いことから、回復のテンポが緩やかになっている。

新車販売台数

普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回っており、足踏みの状況にある。

主要観光地の来訪客数

前年を下回っている。

主要温泉地の宿泊客数

前年を下回っている。

■設備投資：3年度は増加見込みとなっている。

（法人企業景気予測調査（3年7-9月期調査））

製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。

■住宅建設：持ち直しつつある。

新設住宅着工戸数

持ち直しつつある。

■公共事業：前年を下回っている。

前払金保証請負金額

前年を下回っている。

■生産活動：緩やかに回復しつつある。

電気機械

スマートフォン向けを中心に持ち直している。

汎用・生産用・業務用機械

金属加工機械、繊維機械を中心に拡大しつつある。

繊維

衣料向けは弱含んでいるものの、非衣料向けは持ち直していることから、全体では横ばいの状況にある。

化学

大宗を占める医薬品が拡大している。

■企業収益：3年度は増益見込みとなっている。

（法人企業景気予測調査（3年7-9月期調査））

製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。規模別では、大企業は増益見込み、中堅企業、中小企業は減益見込みとなっている。

■企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。

（法人企業景気予測調査（3年7-9月期調査））

現状判断（3年7-9月期）は、製造業が「上昇」超となっているものの、非製造業が「下降」超となっていることから、全産業では「下降」超となっている。

なお、先行きは、全産業では3年10-12月期、4年1-3月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

■雇用情勢：新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

有効求人倍率（季節調整値）

低下している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を下回っている。

■金融機関の貸出金：前年を上回っている。

■企業倒産：前年を下回っている。

件数、負債総額ともに前年を下回っている。

■消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。



渋沢栄一と

その思想に学ぶ



渋沢栄一の胆力

渋沢栄一は孔子を尊敬していましたが、二人の思想や行動を支える時代背景には共通点があります。それは共に下手をすれば命を落とす乱世で活動していた、ということ。

たとえば孔子の場合、弟子の子路は衛^{えい}という国の内乱にまきこまれて、斬り殺されました。また、宰^{さい}予という弟子は齊の内乱で、一族皆殺しにされているのです。

さらに孔子自身も、諸国を放浪中に、彼を快く思っていなかった桓^{かん}魑^{てい}という人物の襲撃を受けました。そのとき、彼はこう口にしました。

「天は、私に徳をさずけられたのだ。桓魋^{かんてい}ごときが私に何をできよう（天、徳を予に生^なせり。桓魋^{かんてい}それわれを如何^{いかに}）」述^{じゆつ}而^し篇^{へん}

自分に何も疚^{やま}しいところはない以上、襲撃者など何するものぞ、というのです。そして栄一も、これとそっくりの体験をしています。

《明治二十五年の十一月頃、自用の二頭立馬車を駈^かって兜^{かぶと}町の事務所を出て、伊達宗城（伊予宇和島侯）伯の病氣見舞いに往くつもりで、江戸橋通りと四日市町の通りとの交叉点の処へ来かかると、突然物陰から二人の暴漢が抜刀で現われ、馬の足を払ったこと

がある。一頭の馬は傷つけられたけれども、馭^{ぎよ}者が馬に鞭を当てて極力走らしたから、一頭は傷も受けず、傷つけられた一頭もまたよく一緒に走ったので、難なくその場を脱し、一まず駿河町の三越呉服店にはいり、休息した》『論語講義』渋沢栄一述 以下同

栄一が狙われたのは、《当時喧^{かまひ}しかった東京市水道鉄管事件に関し、余は外国製品の使用を主張せるに対し、内国ではこれを製造納入しようと企てた者があって、その後聞知せる所によれば、この一派の人々は、あたかも余が外国商人よりコムッションでも取って外国製品の使用を主張するかのごとくに言い触らし》、襲撃者を扇動したためでした。

栄一は、先ほどの孔子の言葉にちなんで、次のように述懐しています。

《余が暴漢に襲われた際には確かにこの（「桓魋ごときが私に何をできよう」引用者注）意気があったのだ。しかしこの意気は、内に省みて疚^{やま}しからぬ確乎たる信念がなければとても起らぬものである》

私利を捨てて、社会のために尽くしているという自負が、命の危機にも動じない胆力を生んでいたのです。

作家・グロービス経営大学院客員教授 守屋 淳^{もりや あつし}



プロフィール

1965年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。現在は作家として『孫子』『論語』『韓非子』『老子』『荘子』などの中国古典や、渋沢栄一などの近代の実業家についての著作を刊行するかたわら、グロービス経営大学院アルumnaisクルにおいて教鞭をとる。著書に34万部の『現代語訳 論語と算盤』や『現代語訳 渋沢栄一自伝』、シリーズで20万部の『最高の戦略教科書 孫子』『マンガ 最高の戦略教科書 孫子』『組織サバイバルの教科書 韓非子』などがある。2018年4～9月トロント大学倫理研究センター客員研究員。

行事カレンダー

2021

11月 November

- 16(火) 七尾の未来構想委員会
- 17(水) 「能登SDGs市民大学」第二回講座
- 18(木) 会員大会
- 19(金) 七尾税務署管内青色申告会連合会役員会
- 20(土) 「のと・七尾共創塾」第4回
- 21(日)
- 22(月)
- 23(火)
- 24(水) LINE公式アカウント活用講座（初級編）
- 25(木) ななお創業応援カルテット連絡会議
経営計画策定セミナー
建設業部会11月定例会
- 26(金)
- 27(土)
- 28(日)
- 29(月) 青年部臨時総会・懇親会
- 30(火)

12月 December

- 1(水) 一日公庫&事業承継マッチング支援相談会
- 2(木) 石川県商工会議所女性会連合会会長会議
LINE公式アカウント活用講座（中級編）
- 3(金) 正副会頭会議
LINE公式アカウント活用講座（上級編）
青年部定例会
- 4(土)
- 5(日)
- 6(月) HACCP導入セミナー
- 7(火) 令和3年度石川県商工会議所女性会連合会会員大会
- 8(水) 「働き方改革」無料相談会
- 9(木)
- 10(金)
- 11(土) 「のと・七尾共創塾」第5回
- 12(日)
- 13(月)
- 14(火) 青年部理事会
- 15(水)